

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 1 New School, New Friends (9時間完了)

2 単元の目標

自分のことをよく知ってもらうために、名前や出身地、好きなものやできることなどについて、伝える内容や順番を工夫して聞き手にとって分かりやすくスピーチをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “自己紹介をしよう” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		自己紹介についての文章の情報を捉えようとしている。または、自分の名前や出身地、好きなものやできることなど伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑤⑥ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		自分のことをよく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	自分のことをよく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとしている。
		B		自分のことをよく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	自分のことをよく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (スピーチ) “自己紹介をしよう” ・単元テスト	A	自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝えるために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝えとともに、内容や順番を工夫して、聞き手にとって分かりやすく伝えている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝えようとともに、内容や順番を工夫して、聞き手にとって分かりやすく伝えようとしている。
		B	自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝えるために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝え、内容や順番を工夫して伝えている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の名前や出身地、好きなものやできることを伝え、内容や順番を工夫して伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 2 Our New Teacher (9時間完了)

2 単元の目標

自分の持ち物に関するクイズを出題するために、自分の普段の行動と持ち物との関わりについて、聞き手が楽しめるようにヒントを出したり、持ち物についての質問に答えたりすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “持ち物クイズを出そう” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		身近な人の普段の行動などについての文章の情報を捉えとともに、自分の普段の行動と持ち物について伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		身近な人の普段の行動などについての文章の情報を捉えようとしている。または、自分の名前や出身地、好きなものやできることなど伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑤⑥ ・発表活動準備(クイズ原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		自分の持ち物に関するクイズを出題するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		自分の持ち物に関するクイズを出題するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備(クイズ原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動(スピーチ) “持ち物クイズを出そう” ・単元テスト	A	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、自分の普段の行動と持ち物との関わりを伝えとともに、聞き手が楽しめるように工夫してヒントを伝えている。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、自分の普段の行動と持ち物との関わりを伝えようとするともに、聞き手が楽しめるように工夫してヒントを伝えようとしている。
		B	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、自分の普段の行動と持ち物との関わりについて、工夫してヒントを伝えている。	自分の持ち物に関するクイズを出題するために、自分の普段の行動と持ち物との関わりについて、工夫してヒントを伝えようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の指導と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 3 Club Activities (8時間完了)

2 単元の目標

相手のことをもっと知り、より仲を深めるために、自分の普段の行動について伝えたり、相手の普段の行動について質問したりして、継続してやり取りすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・ 単元初めのやり取り “相手のことをもっと知ろう” ・ 本文の内容理解 ・ 対象となる言語材料の学習 ・ コミュニケーション活動 ・ 小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		相手の普段の行動, 希望や夢, 持ち物などについての文章の情報を捉えるとともに, お互いの普段の行動, 希望や夢, 持ち物などについて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		相手の普段の行動, 希望や夢, 持ち物などについての文章の情報を捉えようとしている。または, お互いの普段の行動と持ち物について伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑤ ・ 発展的活動 (やり取り) “What Is Your After-School Activity?” ・ 生徒デモの視聴 ・ モデルやり取りの視聴 ・ Speaking Checker 記入 拡M	A		相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, どのような内容や表現がより効果的かを考えとともに, それを適切に表現している。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに, それを適切に表現しようとしている。
		B		相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, どのような内容や表現がより効果的かを考え, 表現している。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, どのような内容や表現がより効果的かを考え, 表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑥⑦ ・ 発表活動準備 ・ Speaking Checker 記入 収M ・ 発表活動 (やり取り) “相手のことをもっと知ろう” ・ 単元テスト	A	相手のことをもっと知るために, 対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, 相手の普段の行動などについて効果的に質問するとともに, 自分の普段の行動について継続して伝えている。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, 相手の普段の行動などについて効果的に質問するとともに, 自分の普段の行動について継続して伝えようとしている。
		B	相手のことをもっと知るために, 対象となる言語材料の使い方を理解している。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, 相手の普段の行動などについて効果的に質問しながら, 自分の普段の行動について伝えている。	相手のことをもっと知り, 仲をより深めるために, 相手の普段の行動などについて効果的に質問しながら, 自分の普段の行動について伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑧ ・ 発表活動の評価 ・ 発表活動の振り返り ・ 単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り, 良い点や改善点を考えとともに, これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り, 良い点や改善点を考えようとするとともに, これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り, 良い点や改善点を考えている。または, これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り, 良い点や改善点を考えようとしている。または, これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し, 基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため, 様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 4 Friends in New Zealand (8時間完了)

2 単元の目標

相手のことを幅広く知るために、相手の好きなものや普段の行動の時刻などについて効果的に質問し、やり取りすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのやり取り “What Subject Do You Like?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		相手の好きなものや普段の行動の時刻などについての文章の情報を捉えるとともに、お互いの好きなものや普段の行動の時刻などについて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		相手の好きなものや普段の行動の時刻などについての文章の情報を捉えようとしている。または、お互いの好きなものや普段の行動の時刻などについて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑤ ・発展的活動 (やり取り) “What ○○ Do You Like?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		相手のことを幅広く知るために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	相手のことを幅広く知るために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		相手のことを幅広く知るために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	相手のことを幅広く知るために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑥⑦ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (やり取り) “What Subject Do You Like?” ・単元テスト	A	相手のことを幅広く知るために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	相手のことを幅広く知るために、相手の好きなものや普段の行動の時刻などについて効果的に質問するとともに、自分の好きなものや普段の行動の時刻などについて伝えている。	相手のことを幅広く知るために、相手の好きなものや普段の行動の時刻などについて効果的に質問するとともに、自分の好きなものや普段の行動の時刻などについて伝えようとしている。
		B	相手のことを幅広く知るために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	相手のことを幅広く知るために、相手の好きなものや普段の行動の時刻などについて質問しながら、自分の好きなものや普段の行動の時刻について伝えている。	相手のことを幅広く知るために、相手の好きなものや普段の行動の時刻などについて質問しながら、自分の好きなものや普段の行動の時刻について伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑧ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 5 A Japanese Summer Festival (9時間完了)

2 単元の目標

小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、体験したことについて、感想を交えて紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “校外学習について伝えよう” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		夏祭りで体験したことや感想などについての文章の情報を捉えるとともに、お互いの体験したことや感想などについて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		夏祭りで体験したことや感想などについての文章の情報を捉えようとしている。または、お互いの体験したことや感想などについて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑤⑥ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (スピーチ) “校外学習について伝えよう” ・単元テスト	A	相手のことを幅広く知るために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、体験したことについて伝えるとともに、感想を交えて伝えている。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、体験したことについて伝えるとともに、感想を交えて伝えようとしている。
		B	相手のことを幅広く知るために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、体験したことについて伝えている。	小学校時代の校外学習について思い出を紹介するために、体験したことについて伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 6 A Speech about My Brother (9時間完了)

2 単元の目標

友達のことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューして分かったことを整理して、まとまりのある内容で紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “友達のことを紹介しよう” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		身近な人のすることなどについての文章の情報を捉えるとともに、インタビューして分かった趣味などについて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		身近な人のすることなどについての文章の情報を捉えようとしている。または、インタビューして分かった趣味などについて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑤⑥ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		友達のことを他の人に知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	友達のことを他の人に知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		友達のことを他の人に知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	友達のことを他の人に知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (スピーチ) “友達のことを紹介しよう” ・単元テスト	A	趣味などについてインタビューして分かったことを紹介するために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	友達のことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューして分かったことについて伝えるとともに、それらを整理して、まとまりのある内容で伝えている。	友達のことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューして分かったことについて伝えるとともに、それらを整理して、まとまりのある内容で伝えようとしている。
		B	趣味などについてインタビューして分かったことを紹介するために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	友達のことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューして分かったことについて伝えている。	友達のことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューして分かったことについて伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 7 Foreign Artists in Japan (8時間完了)

2 単元の目標

ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、日本の食事か外国の食事のどちらがよいかということについて、インタビューして分かったことを整理して継続的なやり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのやり取り “Which Do You Cook for ALT, Japanese Dish or Foreign Dish?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		日本と外国の人やものについての文章の情報を捉えるとともに、日本と外国の人やものについて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		日本と外国の人やものについての文章の情報を捉えようとしている。または、日本と外国の人やものについて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑤ ・発展的活動(やり取り) “Which Do You Like better, Japanese Dish or Foreign Dish?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑥⑦ ・発表活動準備(クイズ原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動(やり取り) “Which Do You Cook for ALT, Japanese Dish or Foreign Dish?” ・単元テスト	A	相手のことをもっと知るために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、日本の食事か外国の食事のどちらがよいかということについて、インタビューして分かったことを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、日本の食事か外国の食事のどちらがよいかということについて、インタビューして分かったことを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	相手のことをもっと知るために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、日本の食事か外国の食事のどちらがよいかということについて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ALTに食べてもらいたい料理を決めるために、日本の食事か外国の食事のどちらがよいかということについて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑧ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 8 A Surprise Party (9時間完了)

2 単元の目標

ビデオの内容を伝えるために、状況を説明しながら、ビデオに出てくる登場人物の行動について、効果的に紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “Let’s Introduce Your Favorite Video.” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		人が今していることの文章の情報を捉えるとともに、人が今していることについて、状況を説明しながら伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		人が今していることについての文章の情報を捉えようとしている。または、人が今していることについて、状況を説明しながら伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑤⑥ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		ビデオの内容を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	ビデオの内容を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		ビデオの内容を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	ビデオの内容を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (スピーチ) “Let’s Introduce Your Favorite Video.” ・単元テスト	A	ビデオに出てくる登場人物の行動について紹介するために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	ビデオの内容を伝えるために、ビデオに出てくる登場人物の行動について伝えるとともに、状況を説明しながら伝えている。	ビデオの内容を伝えるために、ビデオに出てくる登場人物の行動について伝えようとしている。
		B	ビデオに出てくる登場人物の行動について紹介するために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	ビデオの内容を伝えるために、ビデオに出てくる登場人物の行動について伝えている。	ビデオの内容を伝えるために、ビデオに出てくる登場人物の行動について伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 9 Think Globally, Act Locally (8時間完了)

2 単元の目標

学級で世界的な問題に対してどんなボランティア活動をするかを定めるために、様々な問題に対して自分たちがやりたいことをまとめて継続的なやり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのやり取り “What Do You Want to Do for Global Issues?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		世界的な問題についての文章の情報を捉えるとともに、世界的な問題について伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		世界的な問題についての文章の情報を捉えようとしている。または、世界的な問題について伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑤ ・発展的活動(やり取り) “What Country Do You Want to Go?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		学級で行うボランティア活動を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えとともに、それを適切に表現している。	学級で行うボランティア活動を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		学級で行うボランティア活動を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	学級で行うボランティア活動を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑥⑦ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動(やり取り) “What Do You Want to Do for Global Issues?” ・単元テスト	A	学級で行うボランティア活動を決めるために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	学級で行うボランティア活動を決めるために、世界的な問題に対して自分たちがやりたいことについて、まとめて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	学級で行うボランティア活動を決めるために、世界的な問題に対して自分たちがやりたいことについて、まとめて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	学級で行うボランティア活動を決めるために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	学級で行うボランティア活動を決めるために、世界的な問題に対して自分たちがやりたいことについて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	学級で行うボランティア活動を決めるために、世界的な問題に対して自分たちがやりたいことについて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑧ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 10 Winter Vacation (8時間完了)

2 単元の目標

小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、体験したことや感想をまとめて、継続的なやり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのやり取り “What Fuchu Event Do You Want to Tell?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		体験したことや感想についての文章の情報を捉えるとともに、附中の思い出に残る行事について伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		体験したことや感想についての文章の情報を捉えようとしている。または、附中の思い出に残る行事について伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑤ ・発展的活動(やり取り) “What School Event Did You Enjoy in Your Elementary School?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑥⑦ ・発表活動準備(クイズ原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動(やり取り) “What Fuchu Event Do You Want to Tell?” ・単元テスト	A	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、附中の思い出に残る行事について、体験したことや感想をまとめて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、附中の思い出に残る行事について、体験したことや感想をまとめて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、附中の思い出に残る行事について、体験したことや感想を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	小学6年生に附中の思い出に残る行事を伝えるために、附中の思い出に残る行事について、体験したことや感想を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑧ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 1年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 11 This Year's Memories (9時間完了)

2 単元の目標

小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、附中の行事の良さについて、小学生に分かりやすい表現を用いて、伝わりやすく紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【拡散的思考】					
TS	①～④ ・単元初めのスピーチ “This Is the Fuchu Event.” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことの文章の情報を捉えるとともに、附中の行事の良さについて、状況を説明しながら伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことの文章の情報を捉えている。または、附中の行事の良さについて、状況を説明しながら伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑤⑥ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 拡M	A		小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
【収束的思考】					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 収M ・発表活動 (スピーチ) “This Is the Fuchu Event.” ・単元テスト	A	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、附中の行事の良さについて伝えるとともに、小学生に分かりやすい表現を用いて伝えている。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、附中の行事の良さについて伝えるとともに、小学生に分かりやすい表現を用いて伝えようとしている。
		B	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、小学生に分かりやすい表現を用いて、附中の行事の良さについて伝えている。	小学生6年生に対して附中の行事を楽しみにしてもらうために、小学生に分かりやすい表現を用いてようとしている。または、附中の行事の良さについて伝えようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 拡・収RM	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」